

その40㎡の土地、 ただ遊ばせていませんか？

駐車場 1~2台分のスペースで、
電力インフラ投資が可能です。

低圧系統用蓄電池設置イメージ



次の不動産投資は「電気」です。

電力インフラを支えながら、安定した収益を生み出す分散投資モデル。

約40㎡で設置可能



駐車場1~2台分の
小さな土地でOK
※同一・隣接土地に併設不可

約2,500万円から
投資可能



個人投資家や中小事業者でも
始めやすい投資規模

電力インフラに貢献
しながら収益化



需給調整に貢献し
安定的な収益を実現

最短

2.6年で回収の可能性!

※市場環境・その他説に条件により変動します。

残り
約12年は
利益期間に!

※需給調整市場への参入は、最低25基をまとめて申請いたします。
そのため、お申し込み時期によりご案内までお時間をいただく場合がございます。

重要な前提条件

本モデルは、蓄電池1基では成立しません。

同一電力管内で合計1MW以上(低圧系統用蓄電池25基)※の集約が必要です。

※1MW以上ごとに、受給調整市場へ申請・バラシンググループ上でまとめて管理します。



一次調整市場の最低
入札量は1MW
低圧21基で1MWを超えます



故障・出力低下を考慮し
実務上は25基が目安
※1MWを下回ると参入できません。



同バラシング
グループ(BG)で
まとめて運用・管理

低圧系統用蓄電池 投資パッケージ



※本シミュレーションは、2026年4月現在公開されている約定価格等を基にした試算です。市場環境・設備状況により変動します。将来の収益を保証するものではありません。

収益の内訳(イメージ)

売る収益 + 支える収益

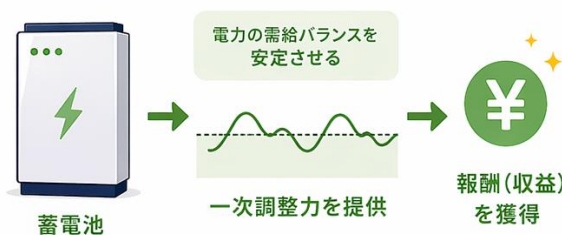
電気を売って得る収益(スポット市場)

安い時間に電気を仕入れ、高い時間に売ることによる収益化



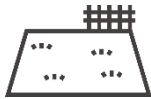
電力を支えて得る収益(一次調整力)

電力の安定供給に貢献し、報酬として収益を得る



■ 導入から運用までの流れ

① 土地のご準備



40㎡以上の土地をご用意ください
※同一・隣接土地に併設不可

② 接続申請(代行可)



接続検討申請を行い
連系の可否を確認

③ 設置工事



負担金・設備費支払い後、
設置工実施

④ 運用開始



運用開始後は
収益化スタート

当社の役割(サポート内容)

- 設置工事一式
- 設備選定・構築(蓄電池・EMS)
- アグリゲーション
- 初期説明(Zoom対応)

お客様にご対応いただく内容

- 用地の選定・ご準備(40㎡以上等、その他条件はお問い合わせください)
- 接続検討申請(代行可: 代行費12万円、電力会社へ20万円※税別)
- 負担金のお支払い(接続検討回答にて電力会社が提示)

対象となる方



土地(40㎡以上)をお持ちの方



導入資金(目安: 2,500万円以上)をご用意可能な方

補足事項

- ・ 土地・融資のご案内は行っていません。
- ・ 用地はお客様にてご準備いただきます。
- ・ 負担金は土地条件により異なり、事前のご案内はできません。
- ・ 接続不可・キャンセルの場合も、申請代行費の返金はありません。
- ・ 低圧系統用蓄電池の制度は2026年4月開始の新制度のため、今後の運用に応じて内容が変更となる場合がございます。

ご相談・お問い合わせはこちら [用地情報をご準備の上、お問い合わせください。](#)